

GSX

GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

2027年3月期 第2四半期 決算説明資料

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 4417

2026年10月

1	2027年3月期 第2四半期 業績ハイライト	P 3
2	AI台頭時代の成長戦略	P 8
3	2027年3月期 第2四半期 事業別の業績概況	P13
4	経営トピックス	P20

GSX

GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

2027年3月期 第2四半期 業績ハイライト

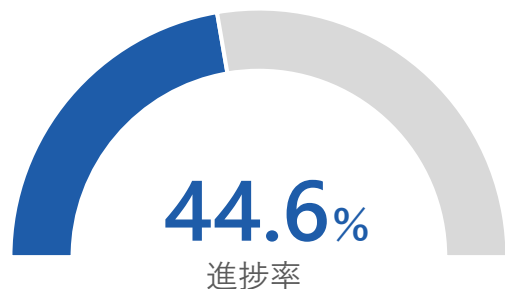
売上高

26/3期 2Q
4,960百万円



6,150 百万円

前年同期比 +24.0%



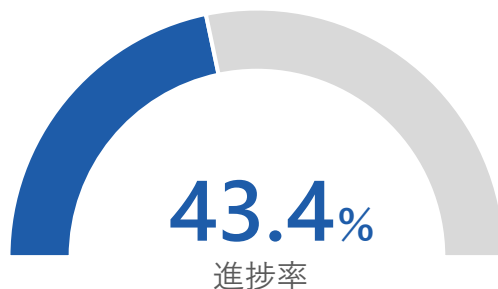
営業利益

26/3期 2Q
960百万円



1,276 百万円

前年同期比 +32.9%



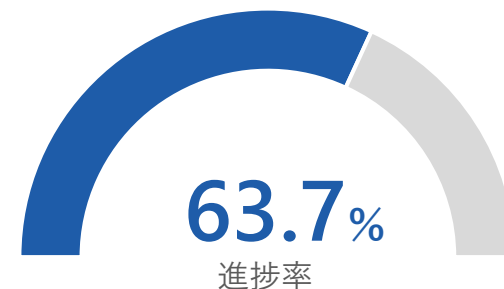
四半期純利益

26/3期 2Q
584百万円



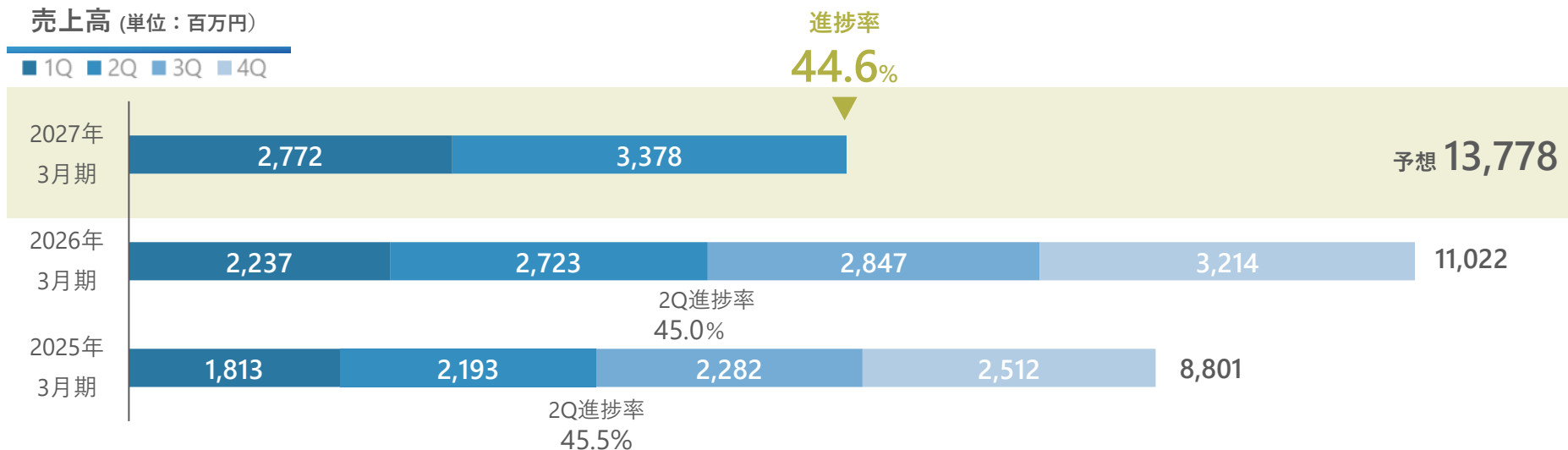
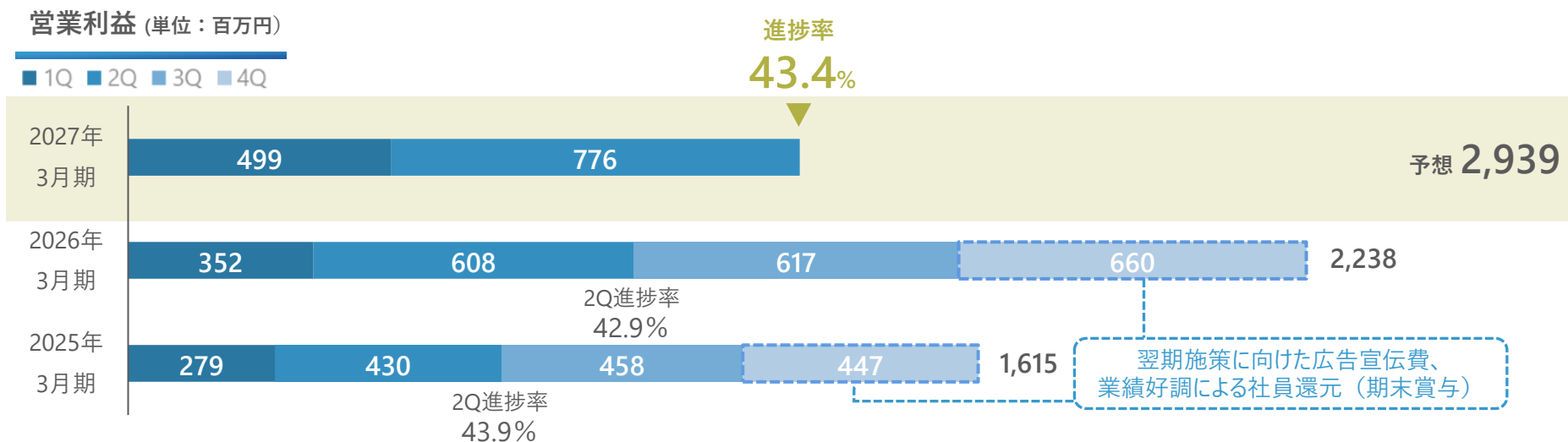
1,273 百万円

前年同期比 +118.1%



通期業績予想に対する進捗

売上高・営業利益ともに計画通りの進捗

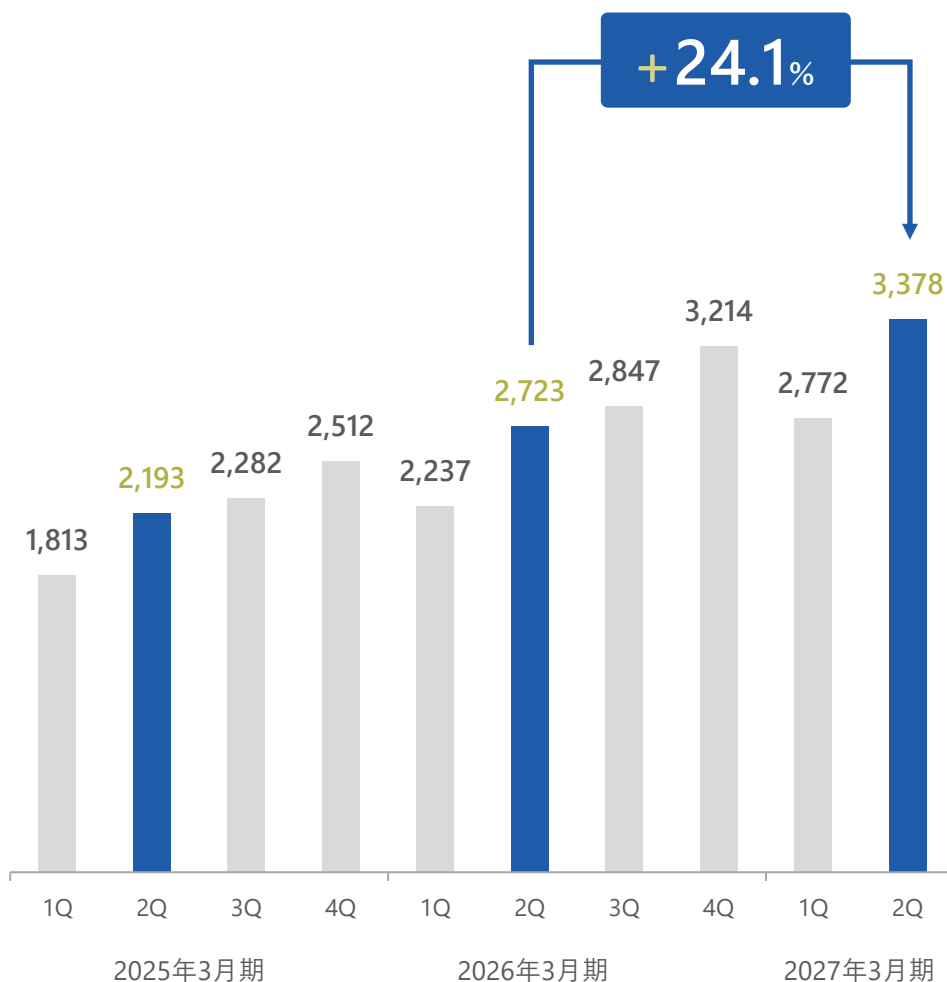


- ✓ 前年同期比増収増益 第2四半期業績として過去最高額を更新
- ✓ 通期業績予想に対して計画どおりの進捗
※四半期純利益は投資有価証券売却益（674.9百万円）が発生したことにより計画を大きく上振れ
- ✓ 「準大手・中堅・中小企業向けセキュリティサービス」
「IT企業・SIer向けセキュリティ人材育成」「あらゆる企業向けセキュリティ人材提供」
顧客ターゲットごとのビジネス戦略によりすべての事業ドメインで業績伸長
- ✓ 「AI台頭時代の成長戦略」「全国展開による成長戦略」を着実に遂行

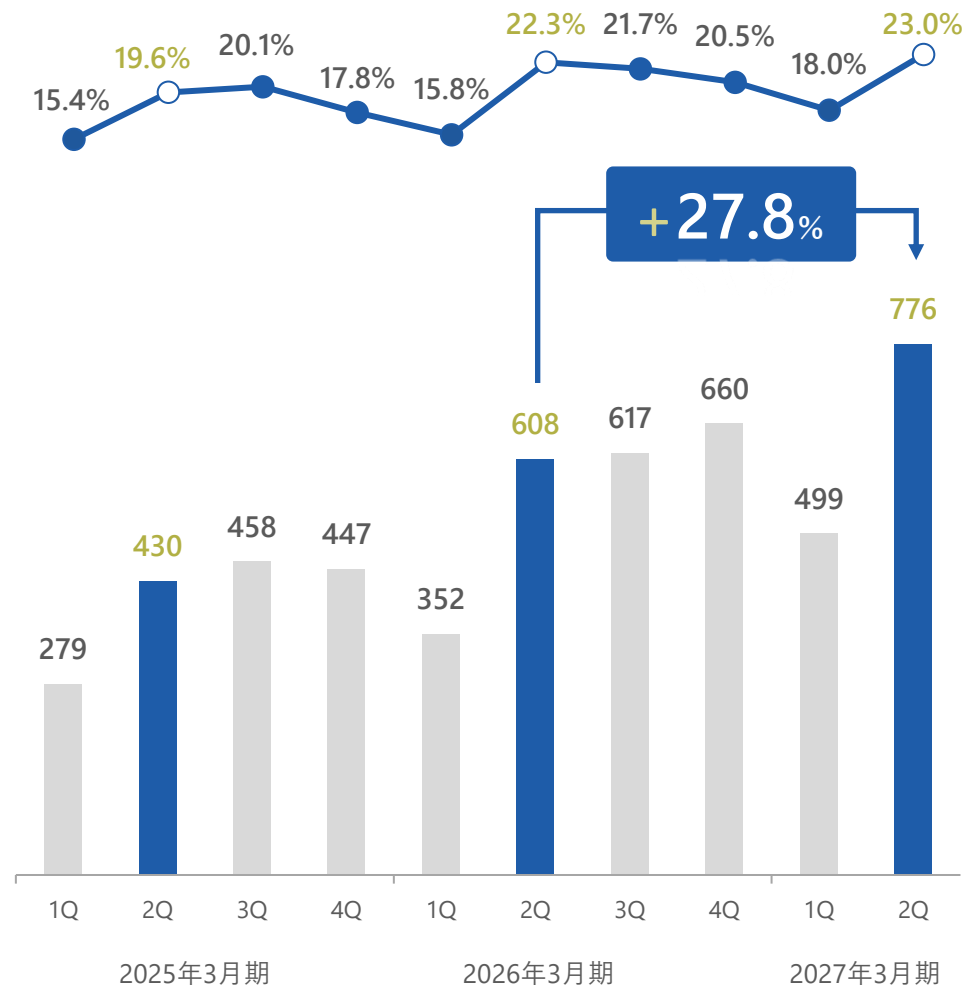
売上高・営業利益 四半期推移（会計期間）

前年同期比で売上高は+24.1%、営業利益は+27.8%と計画通りに成長

売上高（単位：百万円）



営業利益・営業利益率（単位：百万円・%）



GSX

GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

AI台頭時代の成長戦略

昨今のサイバー攻撃被害急増に対するGSXの見解

サイバー犯罪はこの10年で攻撃手法の体系化・分業化が進み、効率的に攻撃を実行する体制が形成されてきた

昨今は、そこにAIによる自動化・高速化が加わり、攻撃量と速度が飛躍的に増大。企業の情報漏えいなどの深刻な被害につながっている

こうした環境下では、平時からの準備の差が、被害の規模を左右させる時代となっている

▶ 昨今のサイバー攻撃被害

etc...



証券口座乗っ取り



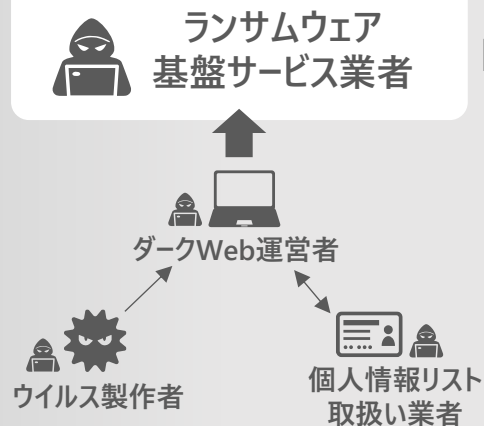
企業へのサイバー攻撃と
個人情報流出



政府機関システムへの
不正アクセス

攻撃の分業化が進み、
それぞれの役割を担う攻撃者が連携する体制が形成

+ AI により攻撃量と速度が増大



専門の
サービス集団

攻撃実行グループA



攻撃実行グループB

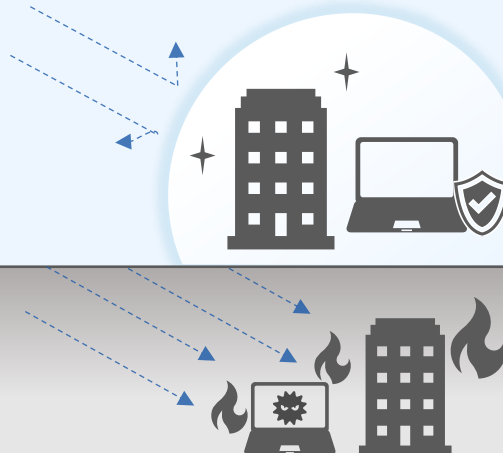


攻撃実行グループC



サイバーセキュリティへの準備の差が
明暗を分ける

サイバーセキュリティへの準備の差が
明暗を分ける



AIの進化はサイバー攻撃者をさらに有利にしている一方で、防御側はAIツールの導入だけで終わらない

企業はこれまでのセキュリティリスクに加え、AI導入に伴う新たなリスクが発生 さらに外部専門家への依存度が高まる

結果的にAIの台頭は当社にとって構造的な成長ドライバーとなる

すでにサイバー攻撃者がAIツールを活用、常に有利な状態に



企業がAIを導入することでのセキュリティニーズ拡大



- サイバー攻撃者もAIを活用
攻撃の自動化、激化、巧妙化を助長
- セキュリティ対策はAIツールだけでは
代替できない

AI台頭により
セキュリティニーズ
爆増



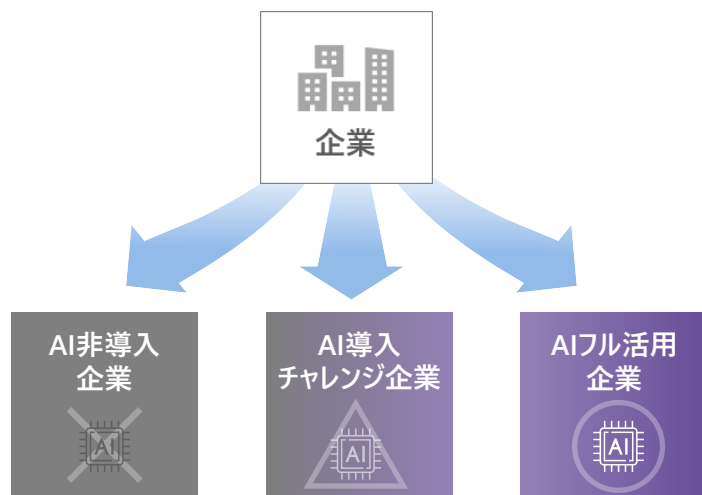
- AI導入に伴い新たなセキュリティリスクが発生
(AIの誤用、情報漏洩、ガバナンス不備 等)
- AIを安全に選定・運用・解釈・統制する難しさ
外部専門家への依存が増加

AI台頭は脅威ではなく
GSXのビジネスにとって強い追い風となる

GSXの顧客市場においては、AIの急速な進化に対する格差が生まれると予想

GSXは既存ビジネスの強みをAI時代にあわせて進化 全ての企業に寄り添うAI時代のセキュリティサービスを提供

顧客市場の変化とGSXグループの対応



AI導入がスムーズに進む企業とそうでない企業の格差

GSX

全てのコンディションの企業を支援するサービスラインナップ

GSXグループの強み

サイバー
セキュリティ
事業

準大手・中堅・中小企業を
基本にした顧客基盤

セキュリティ
教育事業

専門分野の
教育講座開発・資格化の
ノウハウと実績

セキュリティ
人材事業
(CyberSTAR)

専門人材を
育成して増やして提供する
独自のビジネスモデル

GSXグループの強みをAI時代にあわせて進化
対応可能な市場を拡大していく

各事業ごとに内側の効率化からAI活用サービスの創出、新規AIビジネスへの参入などの取組みを進める

AIによる効率化と価格競争力強化



筋肉質化

AIによる新サービス創出



新しい提供価値獲得

セキュリティで実装するAI市場の開拓



新しい市場開拓

サイバー セキュリティ 事業

既存セキュリティサービスの
生産性向上

AIガバナンス体制構築

ISO42001 (AIMS) 認証取得支援

AIDR (AI攻撃検知・対応) サービス

セキュリティ前提の
AI実装支援

セキュリティ 教育事業

教育コンテンツ開発の
スピード向上

AIセキュリティエンジニア

セキュアAIエージェント実装講座

AIセキュリティパスポート

EC-Council COASP
(AI攻撃・防御技術講座)

セキュリティ&AI講座
(AI活用講座)

セキュリティ 人材事業 (CyberSTAR)

人材育成カリキュラム
作成スピード向上

AIエンジニアの育成

セキュリティ×AIのキャリア創出

AIアバターを活用した
エンジニアリングサービス

職種別、サービス別の
AI最適人材の提供

GSX

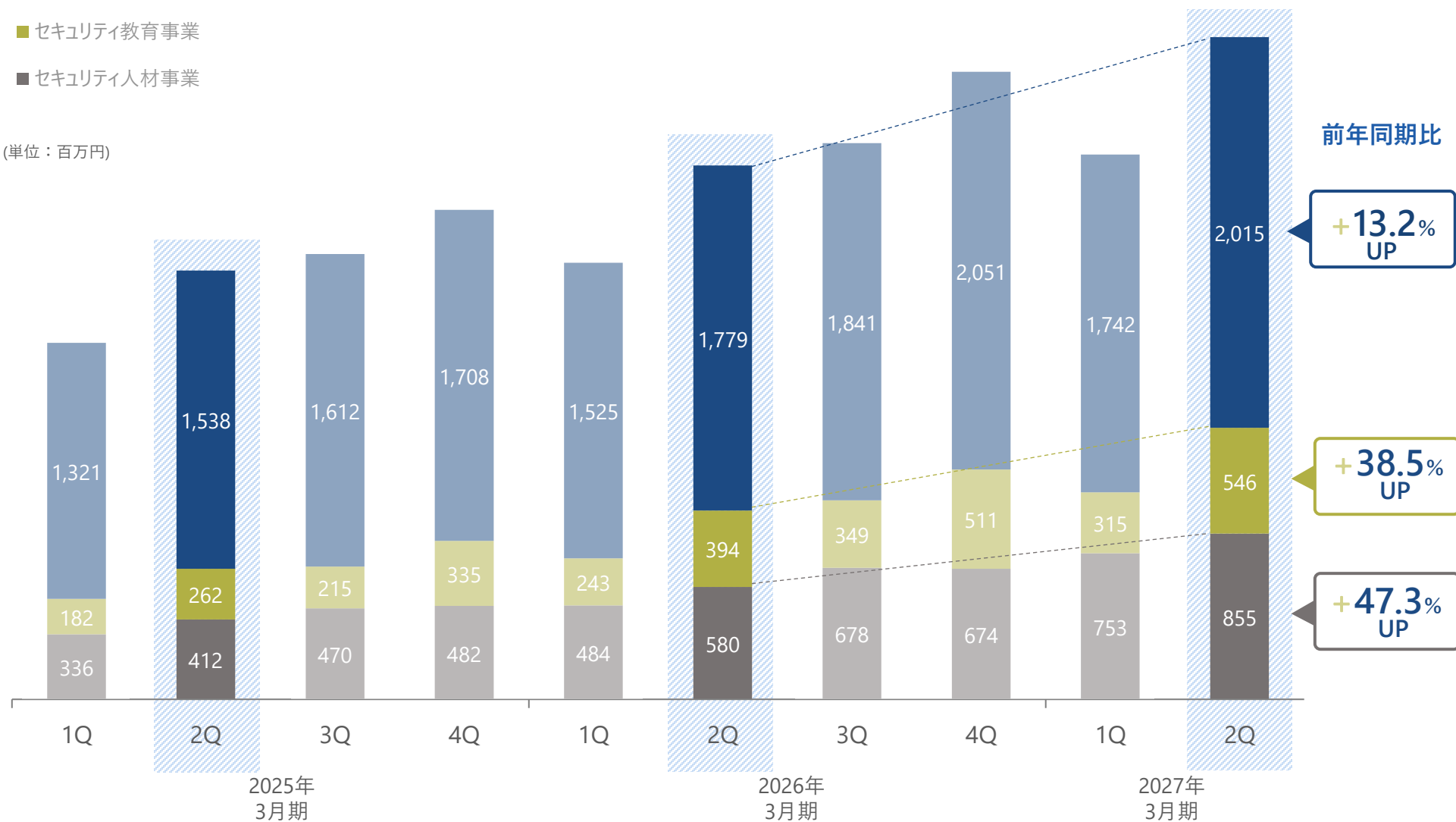
GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

2027年3月期 第2四半期 事業別の業績概況

事業別売上高 四半期推移（会計期間）

- サイバーセキュリティ事業
- セキュリティ教育事業
- セキュリティ人材事業

(単位：百万円)

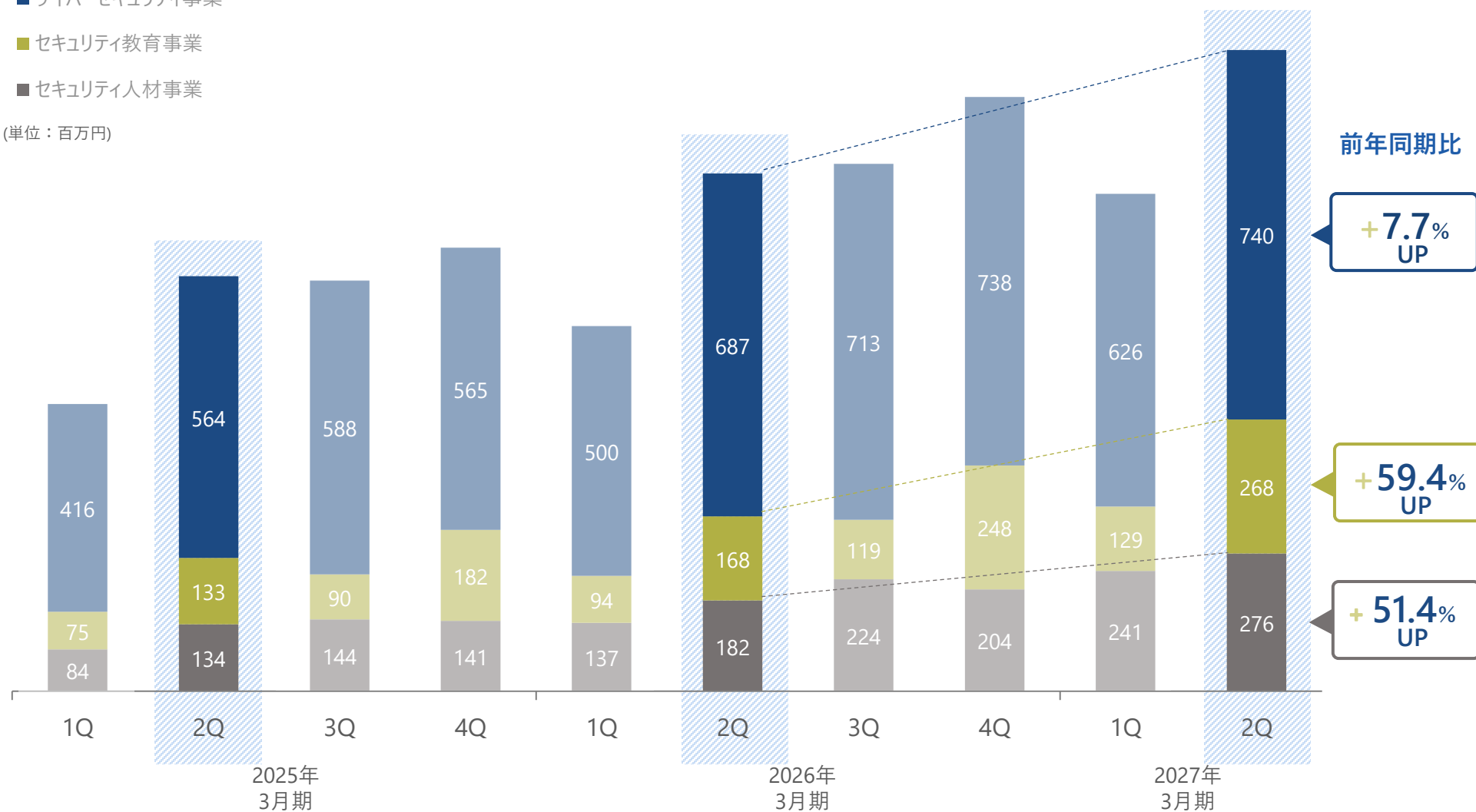


※事業別売上高は内部取引消去前の数値

事業別売上総利益 四半期推移（会計期間）

- サイバーセキュリティ事業
- セキュリティ教育事業
- セキュリティ人材事業

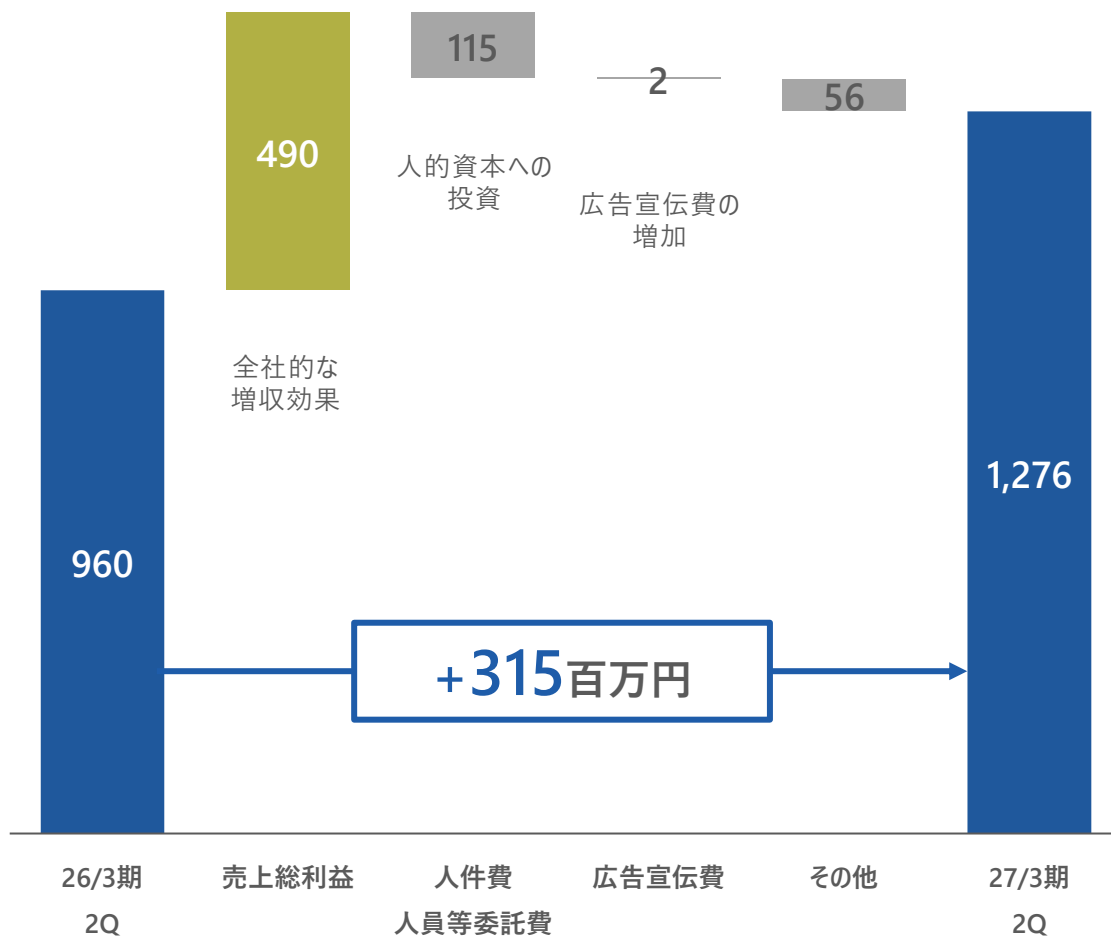
(単位：百万円)



営業利益増減分析 前年同期比

人的資本への投資を積極的に実施するも、それを超える成長により営業利益は前年同期比+315百万円

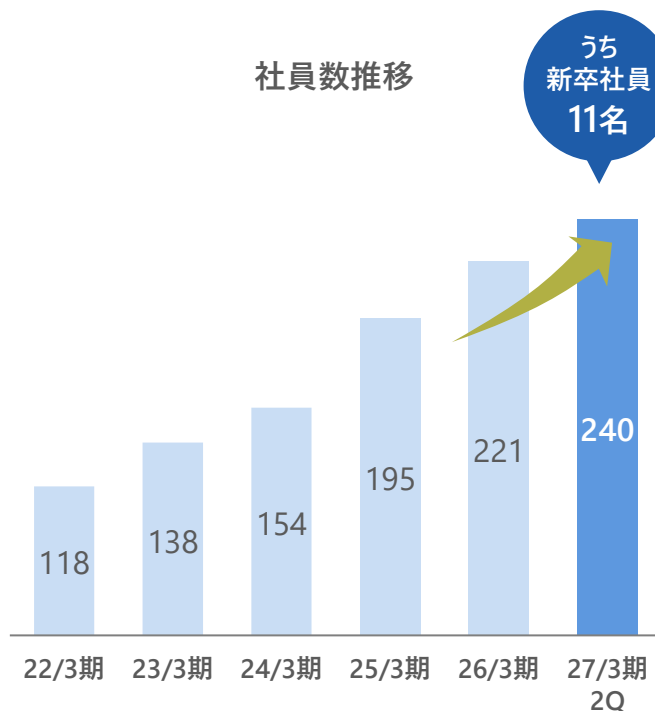
(単位：百万円)



人的資本への投資 115百万円

- ・新卒を含む社員数増加に伴う人件費増
- ・社員の教育研修費

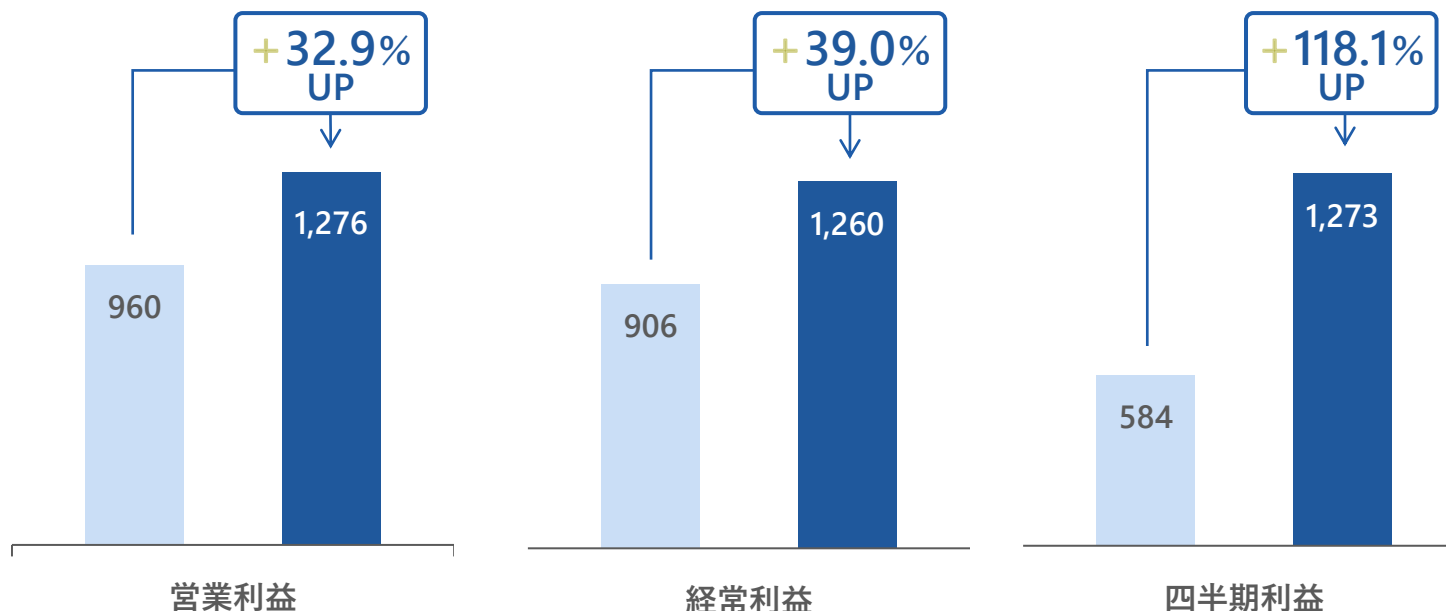
社員数推移



2025年3月期より連結決算に移行 株式会社ブロードバンドセキュリティ、株式会社セキュアイノベーションの損益を反映

利益の前年同期伸長率 (単位：百万円)

■ 26/3期 2Q
■ 27/3期 2Q



経常利益の伸長率の理由

・持分法による投資損失の減少 (前年46.6百万円→当期7.7百万円／ブロードバンドセキュリティ社等の業績改善による)

四半期純利益の伸長率の理由

- ・持分法による投資損失の減少に加え、前年計上の投資有価証券評価損等が当期は発生なし (3.0百万円)
- ・投資有価証券売却益 674.9百万円の発生 (2026年8月13日売却／株式会社網屋の株式)

連結P/L（累計期間）

	(百万円)	2026年/3期 2Q実績	2027年/3期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高		4,960	6,150	+1,189	+24.0%
売上総利益		1,797	2,287	+490	+27.3%
売上高総利益率		36.2%	37.2%	+1.0pt	-
販売費・一般管理費		836	1,011	+174	+20.9%
販売費・一般管理費率		16.9%	16.4%	-0.4pt	-
営業利益		960	1,276	+315	+32.9%
営業利益率		19.4%	20.8%	+1.4pt	-
経常利益		906	1,260	+353	+39.0%
経常利益率		18.3%	20.5%	+2.2pt	-
当期純利益		584	1,273	+689	+118.1%
EPS（円）		38.86	84.80	+45.94	-

※当社は、2025年6月1日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して EPS を算出しております。

(百万円)	2026/3期	2027/3期 2Q	前期比 増減	前期比 増減率
流動資産	6,344	7,405	+1,060	+16.7%
現金及び預金	1,644	2,637	+993	+60.4%
売掛金及び契約資産	2,749	2,495	-254	-9.3%
その他	1,950	2,272	+322	+16.5%
固定資産	3,614	4,397	+782	+21.7%
有形固定資産	250	246	-4	-1.7%
無形固定資産	114	104	-10	-8.9%
投資その他の資産	3,249	4,047	+797	+24.5%
資産合計	9,959	11,803	+1,843	+18.5%
流動負債	4,280	4,977	+696	+16.3%
買掛金	512	535	+23	+4.5%
短期借入金	300	0	-300	-100.0%
1年内返済予定の長期借入金	217	189	-28	-12.9%
その他流動負債	3,250	4,252	+1,001	+30.8%
固定負債	1,277	1,265	-12	-1.0%
長期借入金	1,091	1,009	-81	-7.5%
その他固定負債	186	255	+69	+37.2%
純資産	4,401	5,560	+1,159	+26.3
自己資本比率	44.2%	47.1%	+2.9pt	—

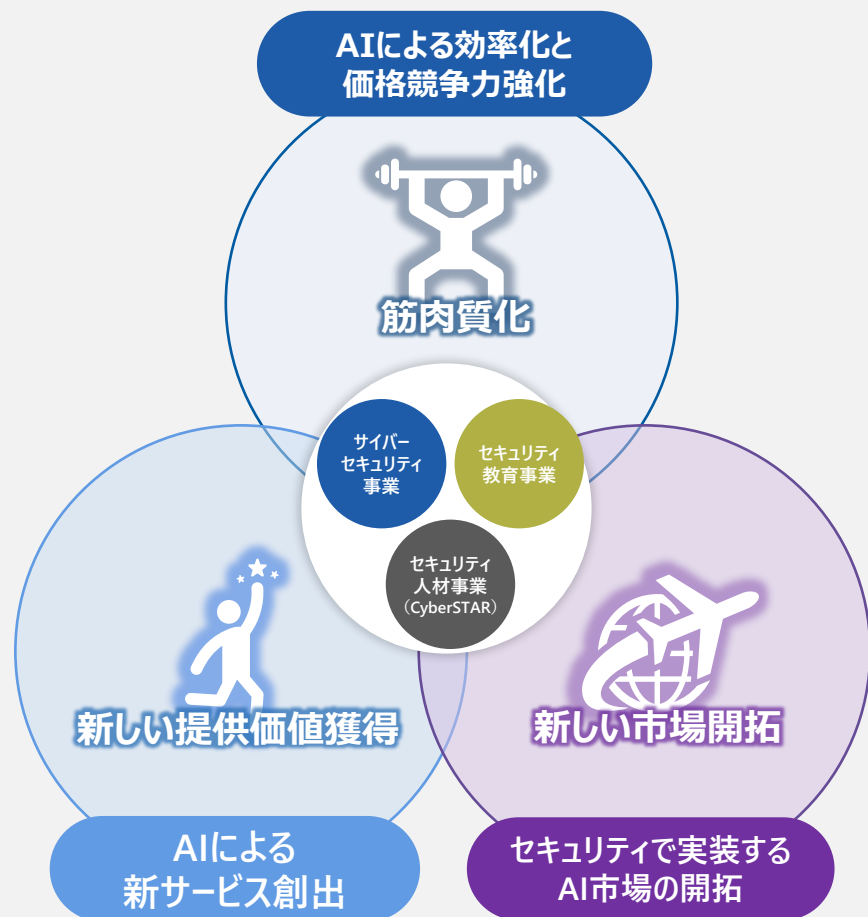
GSX

GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

経営トピックス

AI台頭時代の成長戦略と、全国展開による成長戦略を同時に強く推進

AI台頭時代の成長戦略



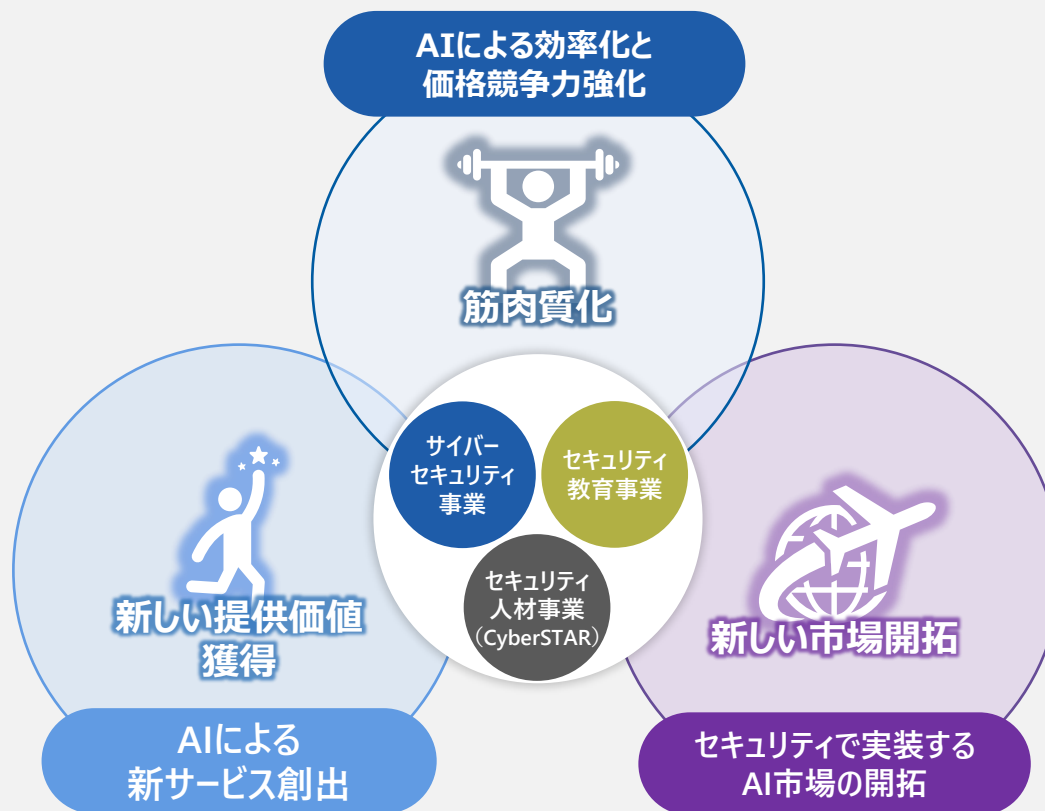
×

全国展開による成長戦略



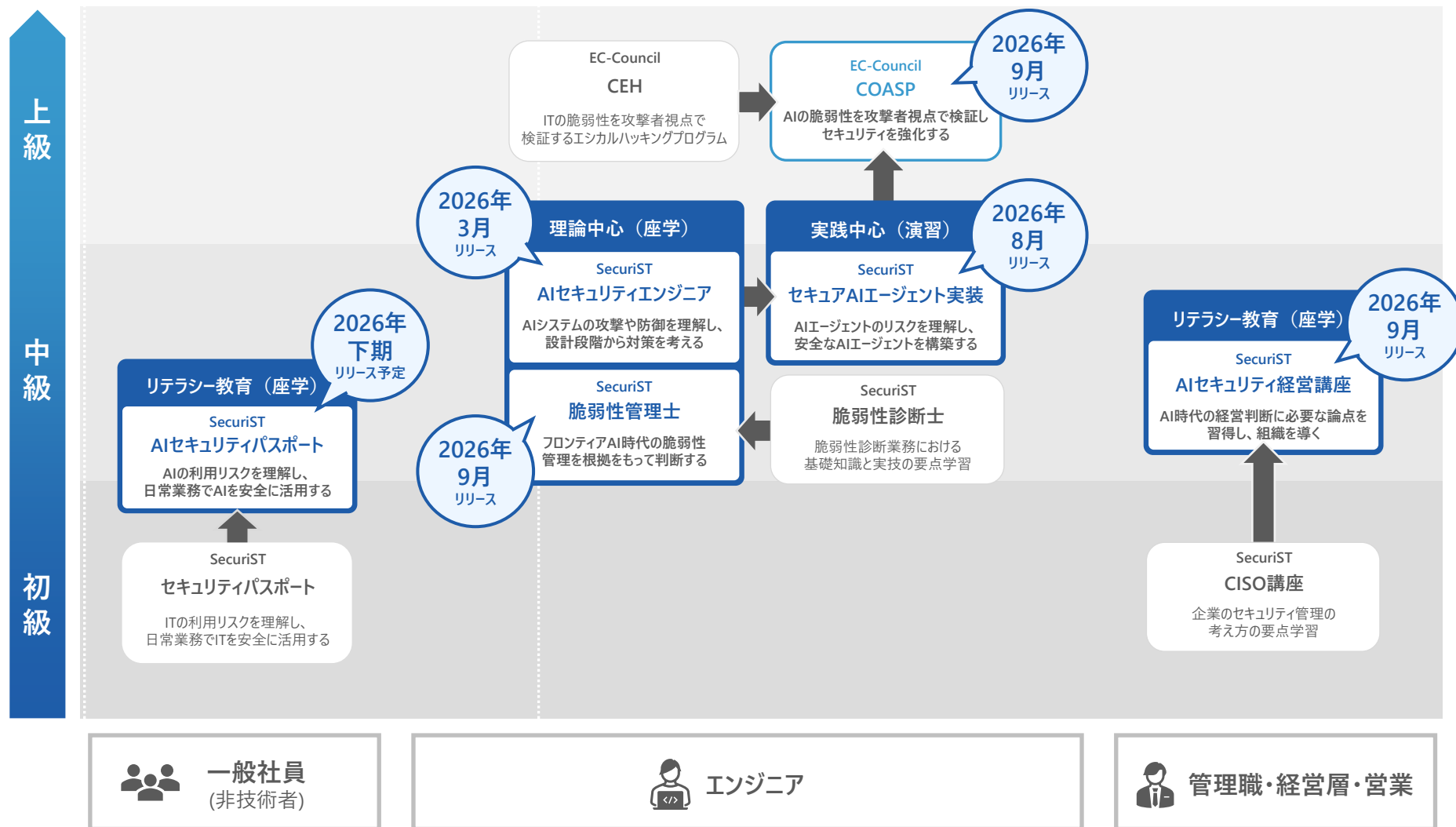
成長戦略の進捗

AI台頭時代の成長戦略



AI関連の教育講座を続々リリース

ユーザーのキャリアアップを意識したステップアップメニュー AI技術の進化と共に新講座を続々リリース



「2026年度 上期中にGSXグループの全社員がAIを使いこなす」を全体方針として掲げ

「AI台頭時代の成長戦略」を強く推進する基盤を構築中



2026



成長戦略の実行

全国展開による成長戦略



全国規模でより安定的なサービス提供体制に GSXのミッション・パーパスをさらに加速させる

-Mission-

日本全国の企業の自衛力を向上すること

-Purpose-

全ての企業をセキュリティ脅威から護る
そのために必要なことを惜しげもなくお伝えする



チャネル別の戦略による顧客開拓と、プロモーション戦略による認知拡大に加え、中小企業向けのサブスク型総合セキュリティサービスを組み合わせることで全国展開を強力に推進する

サイバーセキュリティサービスの全国展開へ — 4つの重点戦略 + One

01 重点顧客戦略

経営層やキーマン、担当者との関係構築により、顧客企業の全事業部でのサービス利用を目指します。

02 地域パートナー戦略

地域のパートナー様と連携し、ロケーションを活かしたお客様への支援を行います。

03 地銀戦略

各都道府県の地方銀行と提携し、口座をお持ちのお客様へ有事、平時の支援を行います。

04 プロモーション戦略

セミナー・広告・PR等を通じて認知拡大とリード獲得を推進し、3つの戦略を横断的に支えます。



05



近日リリース予定

中小企業向けサブスク型総合セキュリティサービス



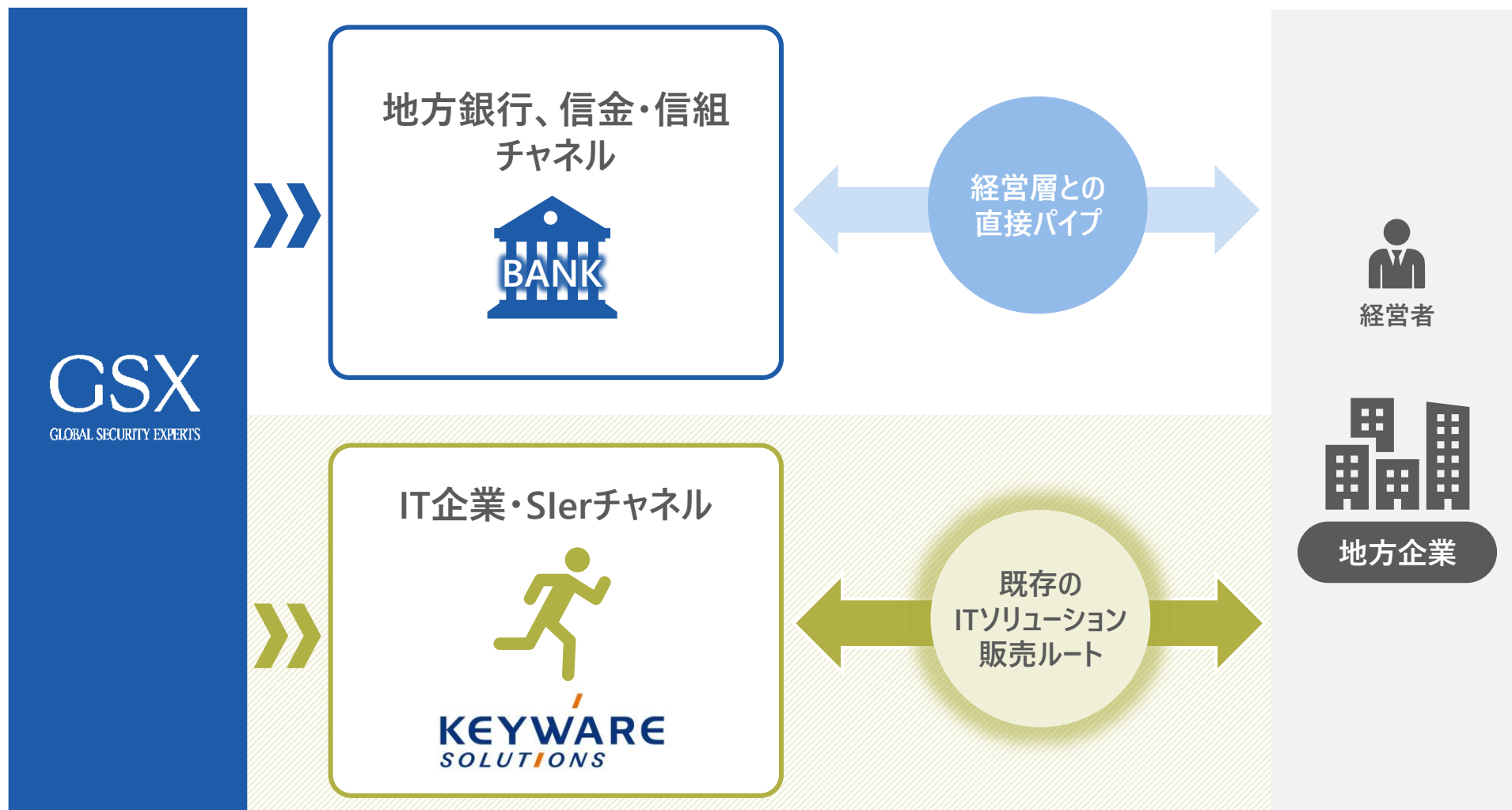
AI
セキュリティ
相談

チェックリスト
AI

ASM[®] /
Security
Scorecard

本資本業務提携により、全国の拠点網とセキュリティ人材を活用し、地方企業への支援体制を強化

人材育成と地域パートナーとの連携を通じて、全国展開を加速させる



本資料は、グローバルセキュリティエキスパート株式会社の決算、事業内容および業界動向について、グローバルセキュリティエキスパート株式会社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

グローバルセキュリティエキスパート株式会社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、作成時点において利用可能な情報に基づいてグローバルセキュリティエキスパート株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

また、監査法人による監査を受けていない数値が一部含まれていますが、参考数値として記載しています。

GSX

GLOBAL
SECURITY
EXPERTS